

文教厚生常任委員会視察

根室市議会文教厚生常任委員会（須崎和貴委員長）は、6月29日から7月2日にかけて行政視察を行いました。今週の市議団ニュースでは、視察の主な内容、様子をお伝えします。

（右写真・校舎内の「ランチルーム」にて説明を受けている様子）
檜川小中学校は、2022年に開校した小中一貫の義務教育学校です。学校は、豊かな自然環境の中にあります。
小規模特認校として、塩尻市内全域から児童生徒が集まっています。実践的な英語教育、小規模校ならではのきめ細やかな教育、地域と共に学ぶ



長野県塩尻市立檜川小中学校（義務教育学校）

などの特色があります。地域の伝統工芸である漆工芸を総合学習（檜川大）で学び、自分たちで作った漆塗りの食器やお盆が給食で使われています。根室市においては、花咲港小学校が義務教育学校へと進んでいく中で、地域とのかかわりなど参考になる点が多々あると感じました。

長野県塩尻市市民交流センター「えんぱーく」



（右写真・施設5階にある

イベントホールで説明を受けている様子）

長野県飯田市の公民館活動

市民交流センターは、中心市街地活性化策として図書館を核とした複合施設建設計画が具体化し、市民中心にソフト・ハード両面を協議、2010年に開館しました。基本コンセプトは「知恵の交流を通じた人づくりの場」。その実現のためにセンターが目指すのは1役立つ情報を提供する2意欲と活動を応援する3センター自身が進化するです。



（右写真・飯田市民館で説明を受けている様子）

「図書館」を核として「子育て支援・青少年交流」「シニア活動支援」「ビジネス支援」「市民活動支援」の5つを重点分野としています。この5つが個々に機能を発揮すると共に、各分野が有機的に連携し、相乗効果を生み出す融合事業（交流企画事業）も展開されています。

根室市の図書館は、建物の老朽化が進んでいきます。今後の方向性として、施設の複合化も検討すべきかもしれません。

飯田市は、1956年に旧飯田市と近隣7村が合併して飯田市に、以降2005年までに2町6村が合併して現在の飯田市になりました。

右の写真は地区公民館の一つ、上久堅公民館です。図書館分館と自治振興センター（行政の窓口サービスなどを担う）が併設されています。今回の視察では、上久堅と竜丘の2つの公民館を視察しました。



飯田市では、地区ごとに地域自治がしっかりと確立され、地区公民館、さらには分館を中心に、地域の住民が主体となつて、特色ある取り組みを行っています。これは、古くから、まさに『結い』の精神が脈々と受け継がれ、協働性を大切に育まれてきたことによるものと感じました。公民館を核としたまちづくり。すばらしい取り組みです。